



平成 26 年 10 月 15 日

授乳婦への乳酸菌・ビフィズス菌投与による母乳成分への影響を確認 第 10 回 日本食品免疫学会にて発表

ビーンスターク・スノー株式会社（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：平田公孝）は、授乳婦に乳酸菌やビフィズス菌を摂取させると、母乳中の免疫成分の 1 つである「TGF- β （ティージーエフ ベータ）」を増加させることを明らかにしました。

この研究成果につきまして、10 月 16 日、17 日に開催される日本食品免疫学会第 10 回学術大会（会場 伊藤謝恩ホール、東京都文京区）においてポスター発表いたしますので、ご案内申し上げます。

—記—

◆研究発表概要

演題名 授乳婦への乳酸菌・ビフィズス菌投与による母乳成分への影響
発表者 ○福留博文¹、渡辺汐美¹、中埜 拓¹、石丸かよ子²、中尾篤人² ※ ○は演者
1. ビーンスターク・スノー株式会社 開発部
2. 山梨大学医学部 免疫学講座
発表日時 10 月 16 日（木）、17 日（金）
発表形式 ポスター発表

◆研究発表内容の要約

○試験背景

母乳には赤ちゃんをアレルギーから守る力があり、そのひとつが TGF- β というたんぱく質によるものと考えられています。

近年、母乳中の TGF- β 量とその母乳を飲んでいた子供のアレルギー発症率が関係することが報告されています^{*1}。また母親が複数の乳酸菌を摂取すると、その母乳を飲んでいた子供のアレルギー発症率が低いことが報告されています^{*2}。

これらの知見を参考に弊社では、山梨大学医学部免疫学講座と共同で、母乳を与えている母親を対象とした摂取試験を実施しました。

*1 Saارين KM et al.: J Allergy Clin Immunol (1999), 104, 1093

*2 メタアナリシス解析結果 Pelucchi C et al.: Epidemiology (2012), 23, 402

○方法

医師の診断によるアレルギー歴のある産後1か月の母乳哺育の母親に対し、3種類の乳酸菌（*B. longum*、*L. casei*、*B. coagulans*）を含むサプリメント（試験食）を2か月間摂取していただき、母乳中のTGF- β 量について、サプリメントを摂取しない群との比較を行いました。

○結果

母親が複数の乳酸菌を摂取することによって母乳中TGF- β 量が有意に増加することを確認いたしました。

◆学会開催概要

日本食品免疫学会 第10回学術大会

会期 平成26年10月16日（木）～17日（金）

会場 伊藤謝恩ホール 東京都文京区本郷7丁目3-1

大会長 上野川修一先生（東京大学名誉教授）

以上

本件に関するお客様からのお問合せ

ビーンスターク・スノー(株)お客様センター

0120-241-537

9:00～17:00（土日・祝祭日除く）

本件に関する報道機関からのお問合せ

ビーンスターク・スノー株式会社

育児品事業部 広報担当 田中 健一

〒160-0003 東京都新宿区本塩町13

TEL03-5362-5772 FAX03-3226-2415

k-t@beanstalksnow.co.jp